

課題番号1

基本方針：Ⅱ		課題名：小ギクの高品質・安定出荷	
対象：JAならけん西和花卉部会		計画期間：R1～3	
		事務所名：北部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R2年度末）	
①盆需要期の安定出荷の推進	県育成品種栽培技術指導 盆咲き品種開花予測調査 電照栽培技術指導・調査 電照栽培研修会の開催 遮光資材等による開花期調整技術現地試験圃設置	県育成盆咲き品種栽培面積 74a → 83a 電照栽培適正品種数 5品種 → 6品種	
②病虫害被害等の軽減による高品質化の推進	鱗翅目害虫発生予察調査 病虫害防除現地指導 品質向上対策講習会の開催	共撰秀品率 83% → 82.2%	

総合評価(コメント)
<p>A:6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大事な品目。引き続きよろしくお願いします。 ■直実に生産者への情報伝達が行われており期待しています。 ■本取り組みは、農家の経営が安定すると共に、産地の将来の維持・発展につながる。異常気象と言っても、年により違った現象が発生するため対応が難しいが、対策は必須のため様々な視点から見た取り組み方向の検討をお願いしたい。 ■新しい技術など産地と連携を深め、今後も普及活動に取り組んでほしい。 ■小ギクの高品質・安定出荷は今後も取り組むべき、病虫害や長雨など予測できないことも多く困難であるが、今後も継続を望む。 ■方向性は正しいので、更に精緻な落とし込みを。

普及指導計画への反映状況等
<p>様々な視点から新たな技術への取り組みを期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ■電照：盆電照の定着とともに、盆出荷以外での電照栽培技術活用も検討します。 ■新芽焼け症状対策：県育成小ギクの現地試作調査の継続と併せて、Ca剤利用による新芽焼け症状の軽減効果を検討します。 ■病虫害対策：病虫害防除所とも連携し、発生予察調査を継続し、対策の情報発信に努めます。ネットハウスについては設置費用も含め、耐候型について検討が必要です。 <p>異常気象への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ■夏季高温対策：遮光資材効果の検討を継続します。